

2024年1月16日
EditNet プリンテック

当社で回収した同人誌古紙の「ゆるチップ」への混抄について
～読み終わった同人誌が「ゆるチップ」に生まれ変わります～

EditNet プリンテックでは、創業当初から環境に配慮した経営を志向し、古紙リサイクルについても再生紙を多く取りそろえてお客さまにお選びいただけるようにするとともに、2009年からはお客さまが不要になった同人誌等の古紙を当社で引き取り、リサイクルに回すサービスを実施してきました。

この取り組みをさらに推し進め、「ゆるチップ」の製造元である大和板紙株式会社との協力により、当社で回収した同人誌古紙を「ゆるチップ」の原材料として提供し、製造された「ゆるチップ」を当社で仕入れ、同人誌の材料として取り扱う取り組みを開始します。

これにより、一部の紙ではあるものの、当社サービスにおけるリサイクルの輪がつながり、より目に見える形での循環型社会の発展につながると考えております。

詳細は別紙をご参照ください。

(別紙)

背景

紙はもともと木材から作られるところ、わが国では原料木の多くを輸入に頼っています。一度使った紙を再生紙にしてもう一度使うことで、国内で生じる古紙を有効活用することができるとともに、廃棄物として処理される紙を減らすことにつながります。

当社では創業以来再生紙や非木材紙を中心に紙を取りそろえるとともに、2009年からはお客さまが不要となった同人誌の古紙を当社で引き取ってリサイクルに回すサービスを実施するなど、古紙リサイクルの促進につながる取り組みに力を入れてきました。

ただ、当社が古紙問屋に引き渡した古紙はどこかで再生紙の原材料になっていることは間違いないものの、古紙リサイクルの輪を考えたとき、ここが繋がらずにミッシングリンクになっていることは、従来から当社も気がかりになっていたことの一つでした。

ゆるチップの特徴

このような中、当社で2018年から取り扱いを開始した大和板紙の「ゆるチップ」は、古紙含有率が70%~100%と非常に高く、その中でもデザイン性に優れる、古紙リサイクルの優等生といえる紙です。当社ではすでに同人誌の表紙として、人気のある紙のひとつになっています。

「ゆるチップ」は薄い紙の層をいくつも重ねて抄く板紙です。表層では原料古紙の品質が色や仕上がりに直結するため、比較的均質な古紙やバージンパルプを材料にしていますが¹、中層は完成品では見えないため、品質に多少ばらつきがある古紙も有効に使っています。

同人誌の古紙は、表紙と本文で紙が異なることに加え、濃色の紙が使われたり、表紙に特殊な加工がされるなど、上質紙等に再生するには活用しにくいものが含まれていますが²、「ゆるチップ」の中層であれば、十分再生利用することができます。同人誌から同人誌のリサイクルのため、部分的ではあるものの、目に見える水平リサイクルを実現できることとなります³。

このため当社では、大和板紙との協力により、当社で引き取った同人誌等の古紙を「ゆるチップ」の原材料として大和板紙に提供し、製造された「ゆるチップ」を当社で仕入れることで、当社サービスにおけるリサイクルの輪をつなげる取り組みを行うことにしました。

サービスの概要

当面は従来に引き続き、当社のお客さま（EditNet プリンテックのサービスをご利用の方）⁴を対象に、古紙の引き取りを行います。

お客さまは当社に古紙を送る際の送料を負担していただきますが、それ以外の料金はいただきません。

当社で引き取った古紙は点検の上、紙の種類に応じて一部を従来通り地域の古紙問屋に、一部を大和板紙に引き渡すことで、いずれも再生紙の原料として活用されます。

大和板紙に引き渡した古紙は「ゆるチップ」に混抄されます。当社が古紙を提供した量に見合う「ゆるチップ」を、当社の同人誌古紙由来の再生紙として仕入れ、当社のサービスにおいて「当社で回収した同人誌をリサイクルした紙」として取り扱います⁵。

「ゆるチップ」以外の銘柄への拡大については、今後検討してまいります。

あわせて、現在は保管場所等の観点から、当社のお客さまを対象として実施していますが、この拡大についても、今後検討してまいります。

実施時期

2024年1月以降、当社から大和板紙に原料古紙を出荷します。原材料と製品の量による管理のため、「同人誌等古紙で作ったゆるチップ」としての販売は順次開始しますが、現物が実際に混抄された最初の「ゆるチップ」が入荷した際などは、改めてお知らせします。

¹ ゆるチップの「ゆき」「つき」などは、表層にバージンパルプも使用しており、紙全体での古紙パルプ配合率が70%程度になっています。

² 例えば黒く染められた紙などは、一般的な再生上質紙などの原材料に混入してしまうと、再生品に黒点が生じる原因になるなど、リサイクルの阻害要因になるとされています。

³ 水平リサイクルとは、空缶から飲料缶のように、回収した資源を同種（同じグレード）の製品にリサイクルすることをいいます。（対して、新聞紙からトイレットペーパーのように、低いグレードの製品にリサイクルすることをカスケードリサイクルといいます。）ゆるチップへのリサイクルは板紙へのリサイクルのため、紙の分類上は水平リサイクルといえないかもしれませんが、当社の古紙には板紙も一定量含まれていることと、用途に着目しても、部分的ながら同人誌から同人誌に再生されます。

⁴ 運用上、当社サービスの利用が確認できる方であれば、利用の時期は問わないこととしています。

⁵ いわゆるミックスクレジット方式に近い形で実施します。紙は一度に何十トンの単位で生産するため、当社が提供する古紙だけを分けて生産することは現実的ではありません。このため、現物としては他の古紙と混ぜり合いますが、一定の期間（例えば1年間）の中で、当社が提供した古紙の量に見合う量（歩留りを考慮した上で作れる量）の製品を当社の同人誌等古紙に由来する製品とみなしています。この考え方は間伐材の割合などの表示に使われるほか、当社が風力発電の電力を調達するときに採用しているグリーン電力証書のしくみなどで、広く使われています。

⁶ お客さまから回収した古紙がすべて同人誌とは限らないため、正確には「同人誌等の市中回収古紙

(post-consumer paper waste)」となります。大和板紙では機密性を保った形で古紙を溶融するため、お客さまから回収した同人誌古紙に加えて、当社で生じた機密文書等も提供します。あわせて、製本や印刷の工程で生じた古紙の一部も提供しますが、生産工程で出た古紙は市中から回収されたものではないため(pre-consumer paper waste)、量の管理上は分けて把握します。